

2020年度事業計画案

【キーパーソン 21 の活動目的】

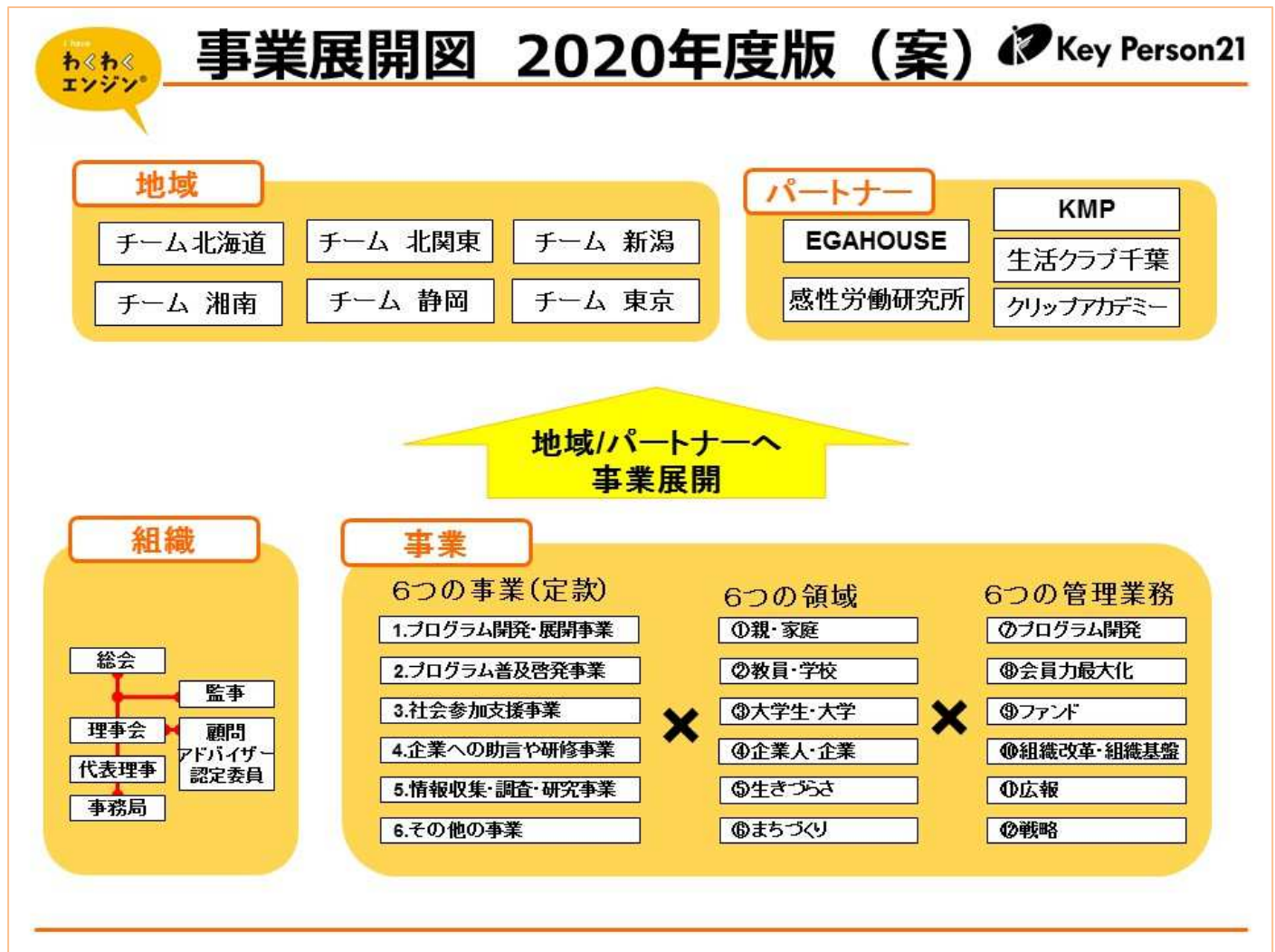
キーパーソン 21 は、主に小中学生から大学生世代に対して、様々な社会人との交流の場を作り、自分の将来について考えるきっかけを持つことで、一人ひとりが視野を広げ、社会へ旅立つことの自覚と自立心を醸成していけるよう寄与することを団体の目的としています。また、すべての世代が、わくわくしながら主体的に社会参加することを支援し、一人ひとりを最大限に活かす社会を創造することを目指します。

【2020 年度目標】

わくわくエンジン[®]があたり前の社会を目指して、中期事業計画で定めた6つの事業領域それぞれで礎となる事業モデル作りを継続しつつ、一人ひとりの変化変容を物語として発信していきます。また、全国のひとりでも多くの方に届けるために、オンラインを活用した活動を行います。

また、わくわくエンジン[®]の発見から生まれるたくさんの「やりたい！」という気持ちを親や先生、地域の大人たちが応援し、子ども一人ひとりの成長をサポートすることのできる地域モデルをつくってまいります。





【事業内容】

I 特定非営利活動に係る事業

1. キャリアプログラムの開発、展開事業

1) プログラム開発事業＜事業展開図⑦プログラム開発＞

■ 20年度のテーマ

オンラインプログラムの開発とわくわくナビゲーターの伝道師化！

■ 20年度の目標

- わくわくエンジン®発見（STEP3）までにとどまらない、プログラムの体系を構築し試行実施する。
- オンラインプログラムの開発

■ 活動項目

- わくわくエンジン®発見（STEP3）までにとどまらない、プログラムの体系を構築し試行実施する。

・ わくわくエンジン®から一歩踏み出すアクション部分と親や先生、第三の大人たちが

どのようにサポートするのがよいかガイドするためのプログラムの開発を行う。

●オンラインプログラムの開発

<プログラム名>

1. 「おもしろい仕事人がやってくる！」
リアルで行っているプログラムをオンラインでも行えるようにプログラム開発を進める。
2. 「おもしろい中高生がやってくる！」
わくわくエンジン[®]を発見した中高生のチャレンジや成長を紹介するオンラインプログラムの開発を進める。
3. 「親子すきなものビンゴ」
リアルで行っている「すきなものビンゴ」をオンライン用にモディファイする。
4. 「家族すきなものビンゴ」
リアルで行っている「すきなものビンゴ」をオンライン用にモディファイする。
5. 「大人（仲間）すきなものビンゴ」
リアルで行っている「すきなものビンゴ」をオンライン用にモディファイする。

<養成講座の構築>

1. オンラインプログラム専用のオンラインわくわくナビゲーター講座の構築を行う
2. リアルで実施している講座のオンライン化は、2021年度に向けて検討開始

●寺子屋事業において低年齢層の親子向けプログラムの開発を行う (オンライン仕様も視野に入れる)

2) プログラム展開事業

2-1. 親/家庭向けプログラム実施<事業展開図①親・家庭>

■20年度のテーマ

子どもが主役！きっかけは、親の変化と成長

■20年度の目標

- ・PTA発によるまちづくりモデルの資金的自立
- ・家庭教育課題解決に向けた親子関係の変化の見える化

■活動項目

1. 有明地域の資金自立のための近隣企業・大学の協力者増加へ
2. 有明関係者の変化変容物語の発掘
3. PTA発によるまちづくりモデルの展開/他の地域候補先のヒアリングと支援
4. 親子すきなものビンゴの実施と効果測定

2-2. 学校におけるプログラム実施<事業展開図②教員・学校>

■20年度のテーマ

教員が、主体性教育を主体的にやるようになる！

■20年度の目標

教員一人ひとりの変化変容とは、教員が、『主体性教育を主体的にやるようになる』学校教育を変えていくキーパーソンになることである。教員の主語が自分になる。自分を語れるわくわく先生を増やす。

学校を軸とした教員の気づきや、学びや、成長の物語をピックアップし、ストックする。

教員個人のオンラインの学びの場づくり。（本部開催、地域チーム開催もあり）

■活動項目

●学校実施

学校側の課題を明確にして、その対応を明確にする

本部実施、企業の子ども応援プロジェクト、5By20、パートナー実施、地域チーム実施

●イベント

未来の先生展、教員交流、「わくわくエンジン®子どもサミット」（コカ・コーラ財団PJ）

●研究調査

効果測定、新学習指導要領とキャリアパスポート

●広報

モデル2校の事例展開

2-3. 地域チーム/パートナーによるプログラム実施＜事業展開図⑥まちづくり＞

■20年度のテーマ

地域主体の、愛着もてる地域づくり活動の支援する

■20年度の目標

自分とまちのつながりが見える化する！

一人でも多くの人が自分のまちのつながりに気づく

わくわくエンジン®がまちづくりにつながる事例づくり（広報と連動）

■活動項目

【地域みんなで子どもを育む持続可能なまちづくりプロジェクトとして】

●STEP1～5までの事例づくり（広報と連動）

・目に見えない“つながり”を実感できる人を増やす

・地域の“つながり”について自分の言葉で語れる人を増やす

2021年3月「わくわくエンジン®子どもサミット」（コカ・コーラ財団PJ）につなげる

●STEP4大人の応援の仕組みづくり（オンラインでの新たな支援メニューの開発）

●地域チーム、パートナーへのフォローアップメニューの充実

接点を増やし、各地、各団体、各人の状況、情報をキャッチする（物語化、コンテンツのオンライン開発につなげる）

（地域チーム向け）

・地域チーム持ちまわりによる、学び合いの場の定期開催（オンライン）

（パートナー向け）

・プログラム実施まわりのフォローアップ講座（オンライン・リアル）

■各地域チームの計画

●チーム北海道

・北海道内での活動認知促進のためのオンライン説明会を企画。ターゲットごと（①一般 ②キャリアコンサルタント ③教員・学校関係者 ④大学生等）に実施。

・わくわくエンジン®の概念を広めるインタビューイベント「わくわくトークセッション」継続。学校や公共施設等でのプログラム実施を計画。

・どさんこ応援サポーター企業制度（単発寄付・継続課金1口3,000円/月以上の寄付等）の拡充。

●チームにいがた

・学校とPTAへのチラシのポスティングは継続。教員理解のための打ち合わせ、振り返りを充実させる。

- ・ PTA連合会、役員研修会への参入。大学、地元企業との連携強化。
- ・ コカ・コーラファンドプロジェクト参加校（高志中等教育）との事務局との連携プロジェクトの開始。
- チーム東京
 - ・ 練馬中学校でのプログラム実施継続。
 - ・ プログラム実施実績を増やす。（親子体験会、学校実施等）
- チーム北関東
 - ・ 自由学園へのアクションを引き続き行う。事務局プロジェクトとの協働。
 - ・ チーム北関東での広報強化。（ホームページ掲載、イベント、活動説明会実施等）
 - ・ プログラム実施実績を増やす。（メンバー居住の自治体でのプログラム実施、学童、公民館、子どもたちに継続に関わることのある団体との連携、親子体験会等）
- チーム湘南
 - ・ 協賛、寄付を積極的に視野に入れる、地元企業、行政との連携強化。
 - ・ プログラム実施実績を増やす。（学校、自主イベント開催）
- チーム静岡
 - ・ 横長の県であるため、チーム静岡として応援しあうが、東部、中部、西部地区ごとの活動も検討。
 - ・ 菊川市民協働センターとのプロジェクトをすすめる。
 - ・ プログラム実施実績をつくる。（学校等）

2. キャリアプログラムの普及啓発事業

1) 広報、コミュニケーション活動＜事業展開図⑪広報＞

- 20年度のテーマ
 - 自分ごととなる「物語化」の推進
 - 主にSNSを中心とした計画的な発信とマーケティング
- 20年度の目標
 - 物語が共感を呼び、6事業領域からの反応が顕在化している
 - ・ 「物語化」
 - ・ 「SNSを中心とした最適な発信とマーケティング」
 - ・ 「対談等の映像化とパブリッシュ（公共化/社会化）」
- 活動項目
 - イベント開催「わくわくエンジン[®]子どもサミット」（コカ・コーラ財団PJ）2021年3月27日
 - 講演・セミナー・イベント登壇
 - 発信したいコンテンツ制作
 - ・ 対談、インタビュー映像や記事の作成
 - ・ 全国10地域の市長、町長、わくわくイノベーターとの対談、インタビュー（コカ・コーラ財団PJ）
 - ・ 社会に影響力のある人との対談、インタビュー（友達の輪形式）
 - ・ 協賛や協力くださっている企業の皆さまとの対談、インタビュー
 - ・ note100本の物語を作る、伝える
 - ① 伝授・伝播（親視点）
 - ② 会員のわくわくエンジン[®]エピソード掲載（各領域ごとにピックアップ）

- ・ 変化変容がわかる紹介ショートムービー（CM）の作成
- 社会に広く発信するための仕組み化
 - ・ プレスリリースの発信の仕組み作成
 - ・ SNS全体の活用の仕組み作成
 - ・ Facebook（100本）
 - ・ Twitter（位置づけの明確化と活用）
 - ・ Instagram（未定）
 - ・ YouTube（30本）
 - ・ note（100本）
- 紙媒体
 - ・ ホワイトペーパーもしくはパンフレットの制作検討
 - ・ 会員報「WAKUの内弁当」発行 2回
- 広報領域、オンライン領域に関する情報セキュリティ

2) わくわくナビゲーター養成講座および講師育成＜事業展開図⑦プログラム開発＞

- 20年度のテーマ
わくわくナビゲーターを価値化する
- 20年度の目標
 - ・ わくわくナビゲーターの学びと成長のためのコミュニティを、全国のわくわくナビゲーターが参加できるようオンライン上につくる
- 活動項目
 - わくわくナビゲーター講師の育成
「すきなものビンゴ&お仕事マップ」のわくわくナビゲーター養成講座の講師を2～5名育成する
 - わくわくナビゲーター2級・1級養成
 - わくわくナビゲーター活動の仕組みの整備
 - ・ 1級養成の魅力の整理
 - ・ 更新の仕組みの整備と運用の見直し
 - ・ 改訂前の講座を受けたわくわくナビゲーターに改訂やプログラムの変更を伝える段取りの実行
 - ・ わくわくナビゲーターの学びと成長の場づくり（わくわくナビゲーターラボ（仮称））
 - わくわくナビゲーター養成講座の開催
 - ・ 川崎本部開催 リアルとオンライン合わせて15回開催
（リアルかオンラインかはコロナの状況に応じて判断する）
 - ・ 地域開催は普及の状況に合わせて開催する
 - 認定委員会の開催（1回）
 - ・ 講師育成、わくわくナビゲーター養成講座の進め方などに関しての意見をいただく

3. 社会参加支援事業

1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（通称：なかわく/こすわく）

＜事業展開図⑤生きづらさ＞

- 20年度のテーマ

生きづらさこそ社会変革のスタート！オンラインを活用し、生きづらさを抱えた子どもの一人ひとりの脱皮感・成長感・変化変容物語を取り上げる

■20年度の目標

- ・変化につながった子どもや学習サポーターの事例を、3月開催予定の「わくわくエンジン[®]子どもサミット」でシェアする

■活動項目

1. 川崎市の委託事業「（通称）なかわく」と自主事業の「（通称）こすわく」の学習支援居場所づくり事業を行う

●学習支援と居場所の機能を備えたオンラインのプログラムの充実

※コロナ収束後、リアル対面での学習支援が復活しても、オンライン学習は並行して行う見込み

- (1) オンラインによる学習支援と居場所機能を充実する
- (2) わくわくエンジン[®]発見をオンラインプログラムで試行する
- (3) 学習支援の現場のメンバーによるわくわくエンジン[®]活用モデルを試行する
- (4) 面接対策として体系立てたプログラムを構築する
- (5) 子ども、学習サポーターの変化変容物語の事例をシェアする

（2021年3月27日「わくわくエンジン[®]子どもサミット」（コカ・コーラ財団PJ）にて）

2. 生きづらさからの社会課題発見と対策を考える会（2回開催と昨年の振り返り1回）

- (1) N高へ通う親子から社会課題を見出す
- (2) なかわく、こすわくの活動から社会課題を考える

3. こすわく事業への寄付確保と寄付者とのコミュニケーション強化

- (1) 継続寄付いただいている企業・グループ・個人など
- (2) 事業展開図⑨「ファンド・財務」との連携

2) 川崎市寺子屋事業 <事業展開図①親・家庭>

■20年度のテーマ

主体的な学びの提供

■20年度の目標

- ・川崎市内の会員の積極的参加を得られるように呼びかけ、体験学習のプログラム実施運営サポーターとしてプログラムに参加してもらえるようにしたい
- ・自分のわくわくエンジン[®]を生かして周りの役に立つことを考えるプログラムやわくわくエンジン[®]発動ストーリーの動画制作プログラムを実施したい

■活動項目

- ・川崎市教育委員会より、5年目となる寺子屋事業の委託を受け、中原区内にある川崎市立今井小学校で事業を行う
- ・子どもたちに放課後の居場所を提供すると同時に、地域で子どもたちを育てるため、地域の大人を中心とするスタッフにより子どもたちへ学習支援を行う
- ・週末を使って普段学校授業では教わらないような学びを提供する
- ・今井小学校の子どもたちとその保護者に、年間26回の水曜日の放課後に学習支援の場を、年間6回の土曜日に親子を対象とする体験学習の場を提供する
（新型コロナウイルス感染症の影響により、方法や回数の変更の可能性あり）

4. 人材育成を目的とした企業、団体等への助言、研修事業

<事業展開図④企業人・企業>

■20年度のテーマ

会社人を社会人に！自ら組織の枠を超えるわくわく組織人倍増

■20年度の目標

企業向け領域における目標キーワード

- ① 企業の「ニーズ・シーズ」の収集と理解
- ② KP21 の強みである「教育現場との接点」の洗い出しと整理
- ③ 会社人を社会人に！個人の「変容ストーリー」の発信

■活動項目

- ・企業窓口との接点の拡大（ニーズ・シーズの情報収集）
- ・ニーズ・シーズに向けたテーマの明確化
（例：越境人材、わくわくな人材育成、教育現場との協働 など）
- ・教育現場 x 会社人から個人が変容した事例をストーリー化
- ・ストーリーをもとに、企業のニーズ・シーズに応え、これを超える提言材料として接点を増やし、深める

■博報堂H-CAMPへの支援を続ける

5. 教育に関わる情報収集、調査研究及び発信事業

<事業展開図⑪広報・⑫戦略>

■20年度のテーマ

社会の課題へのソリューションとしてのアピール力をもつ

■20年度の目標

社会に共感と理解とインパクトを与えられる調査研究と発信を行う

■活動項目

- 効果測定方法の検討
事業の 6 つの領域で抱える課題を調査研究、効果測定を行う。結果について関係各署に発信、提言する機会を探る
- ・コカ・コーラ財団のプロジェクトの地域活性としての効果測定を行う
- ・わくわくエンジン[®]を発見した大人の変化変容を調査研究する
- ・Webアンケートを行い、社会課題のデータを獲得し、そのソリューションをキーパーソン21が持っていることの確認と発信を行う

6. その他目的達成のために必要な事業

1) 会員力最大化<事業展開図⑧会員力最大化>

■20年度のテーマ

会員継続率100%、退会率0%を目指して！

■20年度の目標

- ・会員全員とつながっている
- ・地域チームが独力で会員獲得・継続・活躍の活動を行える準備を整える

■活動項目

【新規入会者増加策】

- ・地域チームの説明会等の普及策のアドバイス・支援

【新規入会者フォロー策】

Key Person21

- ・スターターキットの開発・配布と会員コンシェルジュによる入会初期フォロー
- ・本人の興味関心やKP21でやりたいことに基づき、グループや研究会・交流会への所属促進

【既存会員との関係強化策】

- ・全会員への代表インタビューによる、わくわくエンジン[®]発動&所属感アップ
- ・継続的・計画的な個人会員とのコミュニケーション手段の確立と実行（12領域の活動への会員参画、テーマ研究会等や会員交流会等をオンライン提供 等）
- ・会員情報管理&活用の仕組みを構築・運用・レベルアップする⇒多様な会員の知見やノウハウを多様な活動とマッチングさせる
- ・会員活動のために役割別要件と運用方法等を整備する
- ・継続的・計画的な法人会員とのコミュニケーション手段の確立と実行

2) 大学生応援/OBOG会 <事業展開図③大学生・大学>

■20年度のテーマ

「私たちキーパーソン21育ち！」の“うちの子”育てを活発に！

■20年度の目標

- ・現役生、OBOGの活性となるようなコミュニティを整える
- ・本部や地域チームを軸に、全国各地で学生会員が活躍できる土壌をつくる

■活動項目

- ・学生会員活動の活性化
- ・学生会員募集オンライン説明会
- ・「おもしろいOBOGがやってくる！」プログラム実施
- ・わくわくエンジン[®]1分CM制作

Ⅱ 営利活動に係る事業

1. その他の事業

1) 寄贈品、グッズなどの物品販売

特に活動計画なし

2) 著作、出版物の制作・販売

特に活動計画なし

3) 会員のサークル活動支援事業

特に活動計画なし

【管理内容】

財政基盤を構築する <事業展開図⑨ファンド>

■20年度のテーマ

ファンドレイジング戦略の構築とPDCAの定着

■20年度の目標



Key Person21

会費＋寄付＋助成金の事業計画達成
収支均衡に近づける

■活動項目

【生きづらさ領域】

- ・こすわく川崎市助成金申請
- ・こすわく寄付者とのコミュニケーション
- ・オンラインプログラム開発・ネット環境整備に向けた緊急寄付/助成金申請の実施

【ファンド領域】

- ・寄付者リストの確認・定期的なコミュニケーション
- ・個人寄付者の拡大（説明会、講演会、Webサイト、SNSなど）
- ・法人寄付者の拡大（講演会、会員からのご紹介など）
- ・オンラインプログラム普及のためのファンドレイジング
- ・マンスリーサポーター制度の検討

組織改革・基盤強化＜事業展開図⑩組織改革・基盤強化＞

■20年度のテーマ

わくわくする事をやれる組織、エクセレントなNPOに向けた基盤整備

■20年度の目標

非営利組織評価センターのグッド・ガバナンス認証にふさわしい組織基盤整備

■活動項目

【ガバナンス】

- ・理事会と事務局の相互コミュニケーションによる経営視点の議論の活性化
- ・経営視点を踏まえた監査体制、開示体制の強化

【人事・労務】

- ・必要な人の採用・業務割り当て＆引き継ぎ・サポート体制の確立
- ・人に関わる規程・規約・契約関係・評価の仕組み・面談システム仕組み等の整備・高度化

【経理・財務】

- ・スムーズな決算ができるような経理業務の仕組み化・標準化と、外部活用による負担軽減・ルーチン化

【総務】

- ・外部から評価されるレベルのNPOとしての規程・規約・組織体制の整備（外部評価を高めて、資金投入してもらえる組織へ）
- ・各自の事務局業務の標準化・マニュアル化・複数体制への移行
- ・役所手続きの標準化・簡素化・ルーチン化
- ・事務所移転問題の検討・方向性決定・作業推進
- ・グッド・ガバナンス認証の取得と維持の体制確立

【事業計画管理】

- ・中期事業計画の更新、単年度事業計画の策定・進捗確認・共有、領域間調整・連携の仕組みの運用

【情報管理】

- ・Salesforceの仕様改訂、情報整備・充実、さらなる活用策の検討・推進
- ・文書管理規定に基づくDropboxの電子文書、紙文書等の管理・運用

【リスクマネジメント】

- ・顕在化リスクへの関連性・優先順位を考慮した対応



戦略を立案する＜事業展開図⑫戦略＞

■20年度のテーマ

わくわくエンジン®という価値観があたり前の新しい社会を創るための作戦を立案実行する

■20年度の目標

- ・わくわくエンジン®があたり前の社会のゴールイメージが明確になっている
- ・ゴールイメージ達成のためのキーパーソン21のブランド&マーケティング戦略が確立されている

■活動項目

外部のアドバイザーやコンサルタントと協働して以下を行う

【KP21の理念・考え方の飛躍的普及・拡大策】

- ① KP21やわくわくエンジン®が求められるポイント、他との違いを徹底的に議論&言語化
- ② あたり前レベルの普及のためのターゲット像の明確化
- ③ ターゲット層へのインタビューにより普及を妨げている理由解明
- ④ わくわくエンジン®があたり前の社会のイメージの言語化・明確化
- ⑤ 重点ターゲット層に共感・納得を得るメッセージ&方法考案
- ⑥ 重点ターゲット層に共感・納得を得るメッセージ&方法を広める広報施策を広報領域担当と検討&実行（広報チームメイン）

【当たり前になった状態の運営・体制等の構想計画策定】

上記④を受けて、事業・プログラムの提供形態・会員・パートナー・養成講座・組織等を検討する

以上